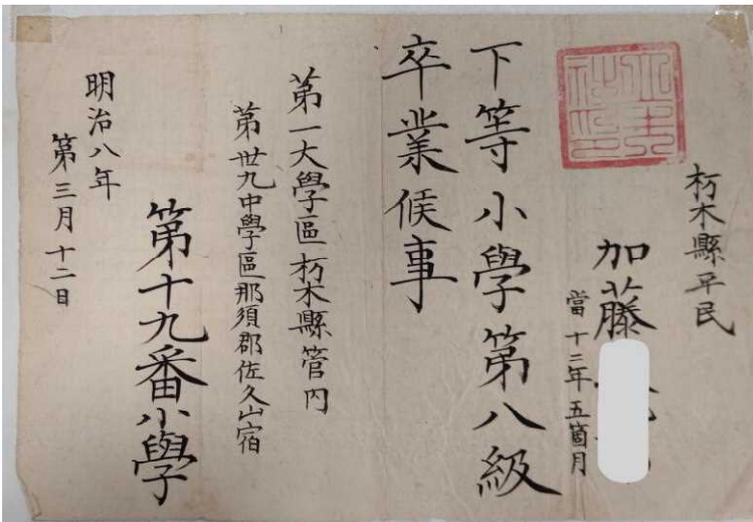


佐久山小学校は、令和6(2024)11月に創立150周年を迎えます。あと2年半後ということになります。

佐久山小学校は、明治7年11月29日に実相院を仮校舎として開校しました。これは、この2年前の明治5年に明治新政府が「学制」を發布したことによるものです。そのときの正式名称は『第1大学区栃木県管内第39中学区那須郡佐久山宿第19番小学「立生舎」』でした。初代校長は田代有恒という人でした。しかし正規の教員はおらず、実相院の御住職が教師として教育をされていたようです。

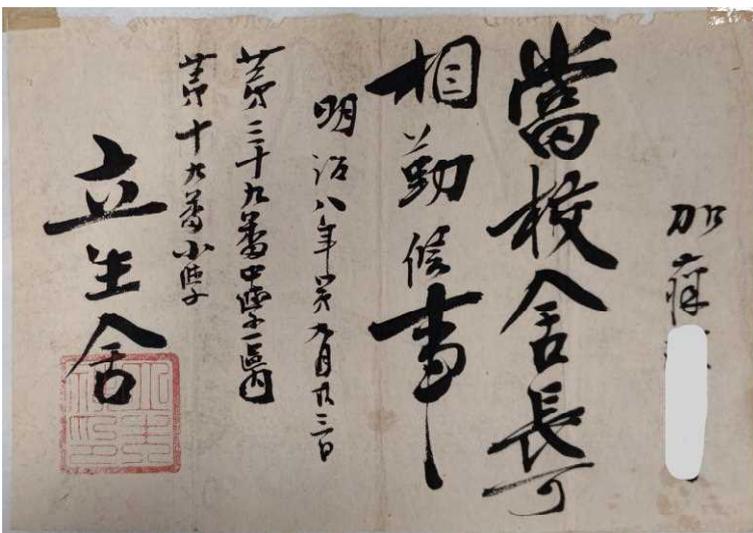
なお開校以前、すでに実相院の御住職は、佐久山の子供たちに「読書と手習い」を教えていたよ、開校後も数年の間は、「読(読み)・習(書き)・算(計算)」を中心とした寺子屋式の教育がなされていたようです。

さてここに、佐久山小学校が開校当時「立生舎」という名称であったことを示す資料があります。福原小学校などで校長先生をされた加藤保先生より、平成13年に御提供いただいたものです。



まずこちらは、本校を明治8年3月に、本校を卒業された加藤某氏の卒業証書です。学校名は「第1大学区栃木県管内第39中学区那須郡佐久山宿第19番小学」となっています。

そして右肩には『立生舎印』との押印があります。



また、こちらの証書は、その加藤某氏が卒業後、同年9月に本校の「舎長」に就かれたという、いわゆる辞令です。

こちらには正式な学校名のあとに『立生舎』としっかり書かれています。

ちなみに、舎長とは、先生の代役として授業を行う立場の人で、お給料も支給されていたとのこと。